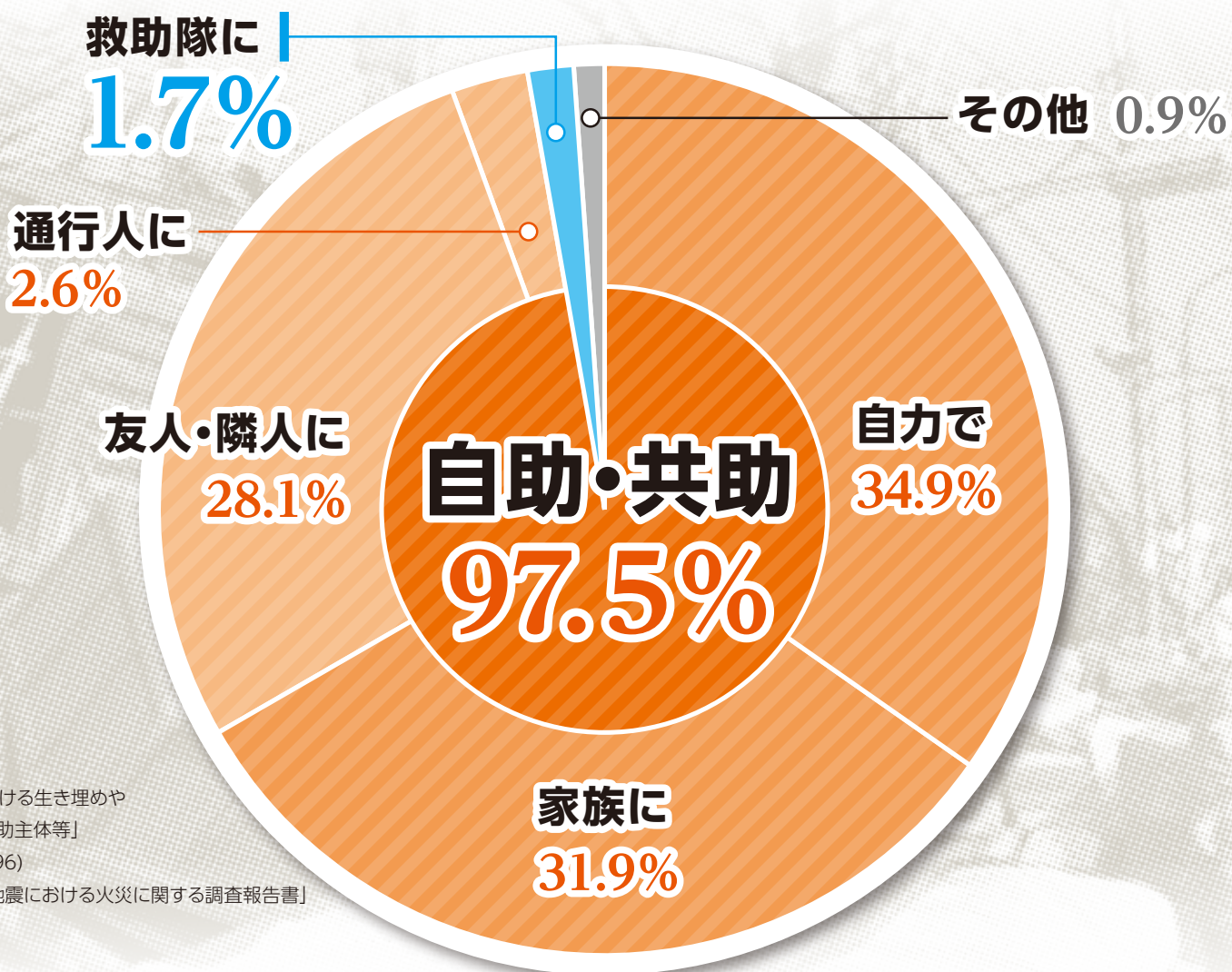


# 防災特集

## 97.5%の真実

### あなたを救う、誰かを救う、自助・共助



平成26年版 防災白書  
「阪神・淡路大震災における生き埋めや  
閉じ込められた際の救助主体等」  
(社)日本火災学会(1996)  
「1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」

6月18日に発生した大阪府北部を震源とする地震により被災された皆さんに心よりお見舞い申し上げます。この度の地震では大阪府で観測史上初めて震度6弱の揺れに見舞われました。

南海トラフ巨大地震や上町断層帯地震といった今後想定される地震に対して、「備えは万全!とあなたは自信を持って言えますか?」

警察や消防、自衛隊などは災害に備え日頃から様々な取組みを進めていますが、大規模災害が発生すると倒壊した家屋に進路を阻まれるなど、救助や消火活動が十分に機能しない恐れがあります。

平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、倒壊した建物などから救助隊によって救助されたのはわずか1.7%。97.5%は自力で建物から脱出したり、家族や友人、隣人など自助・共助の力で救出されたと報告されています。

大規模災害が発生したときに、あなたとあなたの大切な人を守るためには、自助・共助の備えが欠かせません。あなたができることから自助・共助の備えを始めましょう。



写真提供：神戸市

#### 大阪府北部を震源とする地震で被災された皆さんへ

大阪市では被災された方への支援・相談窓口を設置しています。  
住まいやブロック塀に関するご相談など、詳しくはホームページをご覧ください。



☎危機管理課 ☎6774-9899

